



Title	記録：アジア太平洋研究会の研究報告
Author(s)	
Citation	アジア太平洋論叢. 2019, 21, p. 133-141
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100142
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

記録：アジア太平洋研究会の研究報告

本会の名称変遷、会誌名称の変遷などの本会活動は、本誌第15号に濱口恒夫先生によって紹介されている。それによると本会は1974年にアジア研究懇話会としてスタートしたようである。

1990年5月から1998年3月にいたるまでの活動記録については、本誌の前身である大阪外国語大学アジア学論叢創刊号から大阪外国語大学アジア太平洋論叢第8号中に掲載されているが、この前後の期間についての研究会活動記録が記載されていないので、分かる限りここに掲載をした。なお、1982年～1989年までの研究会開催場所は大阪外国語大学内会議室である。

日時：1982年5月13日(木) 14:00～

議題：メンバー紹介、『現代アジア社会の研究』刊行予定、今後の研究計画

日時：1982年6月24日(木) 13:30～

報告：濱口恒夫, Paul R. Brass “Language, Religion and Politics in North India”

赤木攻

日時：1982年9月9日(木) 13:30～

報告：五島文雄『『レ・ズ・アン集団指導体制』におけるヴェトナム統一問題と社会主義建設」

西村成雄、加藤弘之「訪中印象記」

1982年10月7日(木) 14:00～

報告：加藤弘之「中国農村工業化政策の理念と現実—江蘇省無錫県の経験から」

松尾大「最近のインドネシア経済開発について」

1982年11月18日(木) 14:00～

報告：タン・トン「ビルマにおける国民統合」

1982年11月25日(木)

報告：桑島昭「インド・ジャイプル藩王国の統合と人民会議運動」

赤木攻「タイ村落における構成基盤—「バーン」について」

1982年12月23日(木) 14:00～

報告：加賀谷寛「中東政治とアイデンティティーの多重性」

濱口恒夫「パキスタンの民族問題とパクトゥーニスタン運動」

1983年1月27日(木) 14:00～

報告：松田武「ウィルソン政権の新四国借款団政策—トマス・ラモントの訪日・訪中を中心に」

1983年2月24日(木)

報告：竹下政孝「中東、アメリカにおけるイスラム研究の動向」

小野田求「第二次大戦中における朝鮮の独立運動」

日時：1983年3月17日(木) 15:30～

報告：富田健次「ベトナムの現実—6か月の滞在から」

1983年6月9日(木)

報告：岡崎正孝「イギリスにおけるイラン研究」

濱口恒夫「外大の将来構想とアジア研究」

1983年6月23日

報告：嶋本隆光 (UCLA)「イランにおける宗教と政治」

1983年

報告：Prof. Amin Banani(UCLA)：Modernization of Iran under the Reza Shah

1983年11月17日(木)

報告：松尾大「インドネシアにおける企業の民族性」

大野徹「1983年のビルマ」

1983年12月20日(火)

報告：桑島昭「第一次世界大戦とアジアシンガポールにおけるインド兵の反乱（1915）」

1984年2月9日(木) 13:00～

報告：井原沢周「中国訪問記」

1984年4月26日(木)

報告：松村耕光「インド・シンдрーム」

1984年5月31日(木) 13:30～

報告：香川優子「素顔のサマド・ベベランギー —革命家と田舎教師の間—」

1984年6月7日(木)

報告：Dr. K.V. Kesavan (Associate Prof., School of International Studies, Jawaharlal Nehru Univ.); Asian Studies in India

1984年10月18日(木) 14:00～

報告：田中仁「日中戦争史研究の一側面—南開大学国際シンポジウムに参加して」

1984年12月20日

報告：西村成雄「中国における地域史研究の特質—地域社会との出会い」

松尾大「マラッカ海峡地域におけるイスラム思想の伝播」

1985年2月25日(木) 13:00～

報告：加藤弘之「中国の兼業農家論」

赤木攻「『タイ知識人の苦悩』を翻訳して」

1985年5月9日(木) 14:00～

報告：白石昌也「太平洋戦争期のベトナムと八月革命」

桑島昭「第一次世界大戦とアジア-21か条要求のアジア諸地域への波紋」

1986年11月27日(木) 14:00～

報告：五島文雄「ベトナムとソ連・東欧諸国の関係ー現状と展望」

香川優子「アメリカにおけるイラン研究の動向」

1986年12月11日(木)

報告：小野田求「太平洋戦争中の朝鮮民族の独立闘争に関する研究の現状と展望」

津田守「フィリピン社会階層論ーミドルクラスを中心にして」

1987年4月16日(木)

報告：松田武「レーガン政権下、アメリカ社会の諸相」

赤木攻「タイで見たこと、考えたこと」

1987年7月2日(木)

報告：深尾葉子「1920-30年代中国の葉煙草栽培ー山東省を中心としてー」

桑島昭「第二次世界大戦と南アジアーインドを立ち去れ運動(1942年)の意義」

1987年10月15日(木)

報告：大野徹「大連外国語学院における日本語教育ースライド映写を中心にしてー」

1987年12月17日(木)

報告：加賀谷寛「東京外国語大学国際シンポジウムに出席してー地域研究をめぐってー」

1988年3月24日(木)

報告：K.P. カルナカラン「ガンジーの遺産と世界平和」

1988年6月2日(木)

報告：Dr. Urmila Phadnis (ネルー大学国際問題研究所) 'Ethnicity in South Asia'

1988年9月29日(木)

報告：大野徹「変動するビルマの政治・経済」

1989年1月26日(木)

報告：桃木至朗「ベトナム王朝国家－東南アジア的権力と中国式国家－」

濱口恒夫「民主化に踏み出したパキスタン」

1989年6月15日

報告：西村成雄・田中仁・深尾葉子「現在の中国の事態について」

1989年12月7日

報告：杉田米行「管理された革命」

桑島昭「インドから帰って」

1990年5月から1998年3月までの活動記録は「大阪外国語大学アジア学論叢 創刊号」から「大阪外国語大学アジア太平洋論叢 第8号」に掲載されている。

1998年7月11日(土) ～ 12日(日)

場所：箕面山荘

報告：松野明久「最近のインドネシアの現状」

秋田茂・赤木攻「日本の情報メディアとアジア太平洋圏」

1999年7月10日(土)～11日(日)

場所：国民宿舎「紀伊見荘」

2001年7月21日(土)

場所：大阪市立弁天町市民学習センター

報告：住村欣範「ドイモイ時代のベトナムにおける『伝統』のもつ意味の変化について－
親族の問題を中心に」

田和正孝「マラッカ海峡南部における水産資源をめぐるコンフリクト－マレーシ
ア・バリジャワのかご漁業を中心に」

2002年7月

場所：赤穂かんぼの宿

2003年7月

場所：「富田林かんぼの宿」

2004年6月26日(土)～27日(日)

場所：エキシブ白浜アネックス

報告：Robert D. Eldridge「戦後日米関係と沖縄」

川端基夫「アジアの市場拡大と小売業の国際化」

深尾葉子・安富渉「中国黄土高原村落での生態文化回復運動」

2005年7月23日(土)～24日(日)

場所：ホテル・ド・摩耶

報告：村上忠良「タイ国内のシャン仏教をめぐる制度と実践－北部国境地域における仏教
実践の現状」

浅野豊美「二つの条約改正と日本帝国の展開－保護国韓国における治外法権廃止問
題と外国人としての日本人居留民」

許衛東「上海の都市経済構造と高齢者問題について」

2006年7月22日(土)～23日(日)

場所：シーパル須磨

報告：村松嘉久「中国・北京オリンピックに向けた都市再開発と空間変容」

前川一郎「『植民地近代』からみた世界」

金錦艶「日韓における既婚女性労働の比較研究」

2007年7月21日(土)～22日(日)

場所：かんぼの宿淡路島

報告：中川聡史「タイをめぐる近年の国際人口移動」

西村成雄「20世紀中国政治変動の経路依存性をめぐって」

浅田進史「膠州湾租借地におけるドイツ経済政策と植民地社会秩序(1897-1914)－

総督府参事会改革をめぐる議論を中心に」

2008年7月26日(土)～27日(日)

場所：エスカル神戸

報告：五島文雄「ベトナムにおける市場経済化の現状－証券市場を中心に」

山崎健「北京の地域構造の変容－改革開放政策以降を中心に」

佐藤隆広「インド経済をどう見るか－要素生産性(TFP)・市場経済発総達・政策トリレンマ」

2009年7月18日(土)～19日(日)

場所：休暇村紀州加太

報告：宮原暁「フィリピン・チャイニーズの『海洋中国』性－社会人類学視点から」

半澤朝彦「国際連盟、国際連合と脱植民地化：1920-2002－アジア・太平洋における非公式帝国の展開」

嶋本隆光「イスラームと民主主義－M.モタッハリーの事例」

2010年7月17日(土)～18日(日)

場所：エクシブ淡路島

報告：河森正人「「若い」を生きる、「若い」を支えあうタイと日本の事例から」

酒井一臣「1930年代の国際協調外交の変貌とアジア太平洋秩序」

高岡裕之「冷戦後における日本近現代史研究」

2011年7月17日(土)～18日(日)

場所：シーパル須磨

報告：山本千映 Staying or Leaving? Gender, Job Opportunity, and Poor Law Administration in
Nineteenth-Century England

藤巻正己「クアラルンプルの心象地理－「マハティールの都市」25年間の軌跡をた
どる」

岡本隆司「現代中国と中国史研究」

2013年2月3日(日)

場所：大阪大学文法経中庭会議室

報告：宗村敦子「スマツツ政権期ジョブ・カラーバーの再検討－1940年代食品缶加工業組
合」

秋田茂「綿業が紡ぐ世界史－日本郵船のボンベイ航路」

桑島昭「インド研究の50年」

日時：2014年12月6日(土)

場所：大阪大学文法経中庭会議室

報告：朱嚇 Short Introduction of IT Industry in China

Podoba Zoya, Energy Cooperation in the Shanghai Cooperation Organization

佐藤彰男「バングラデシュの船舶リサイクル産業と都市貧困層の形成」

2015年12月5日(土)

場所：大阪大学文法経中庭会議室

報告：河村倫哉「民族紛争の構図：承認要求か利害追及か」